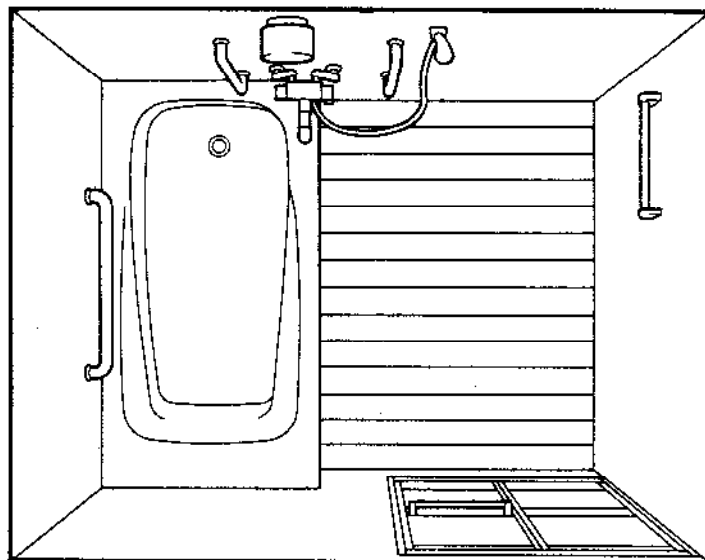
ユニットバスルーム

BL認定品

取扱説明書

対象品番

Aタイプ BP-1116T/BL,S/BL,T(BF)/BL
S(BF)/BL,SBK/BL
BP-1117T/BL,S/BL,T(BF)/BL
BP-1216T/BL,S/BL,T(BF)/BL
S(BF)/BL,TBK2/BL
SBK/BL,SBK2/BL
BP-1218T/BL,S/BL,TBK/BL,
SBK/BL
BP-1317T/BL,S/BL,SBK/BL,
TBK/BL
BP-1418T/BL,S/BL,SBK/BL,
TBK2/BL

Bタイプ BP-1317TBE/BL
BP-1418TBE/BL,TBK/BL
BPD-1216T/BL
BPD-1616T/BL

この度は当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。

このユニットバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ 品番シールは浴室ドア上部に貼ってあります。
※ 本取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。
※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。
※ 浴槽には、浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※ 換気扇、バランス釜、Aタイプの浴槽・水栓金具は、当社商品以外のものが取り付けられている場合があります。当社商品以外のものにつきましては、それぞれに付属の取扱説明書をご一読ください。

この取扱説明書では、安全に使用していただくために、次の表示マークや絵表示を使用して注意事項を説明しています。
ご使用する前にこの表示マークや絵表示をご理解いただき、事故のないように正しくご使用ください。

表示マークおよび絵表示の説明

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠警告 …… この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意 …… この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◎絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

…… この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

…… この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。

…… この絵表示は分解してはいけない「禁止」の内容です。

…… この絵表示は指示した場所に触れてはいけない「禁止」の内容です。

…… この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

目　次

各部の名称

天井点検口

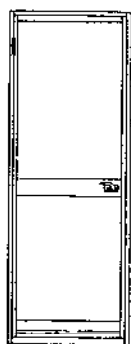
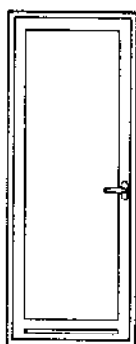
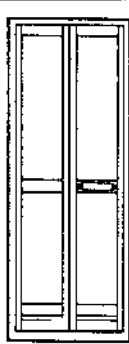
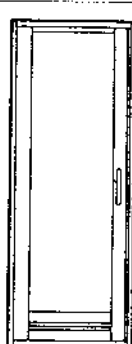
照明器具
換気グリル
天井点検口
天井
シャワー
握りバー
タオル掛
シャワーバス水栓
握りバー
浴槽
スノコ
床
目皿
エプロン

※ご使用いただくユニットバスルームは上記イラストと異なる場合があります。
※換気扇、バランス釜、Aタイプの浴槽・水栓は、当社商品以外のものが取り付けられている場合があります。当社商品以外のものにつきましては、それぞれに付属の取扱説明書をご一読ください。

⚠ **注意**

点検口は電気配線や配管関係などに異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物などを置かないでください。

※ **火災・感電や漏水の原因**となります。

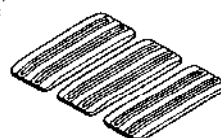
ド ア

排水栓

ゴム栓

プッシュワンウェイ排水栓

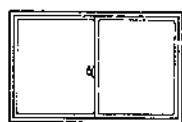
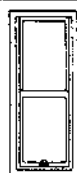
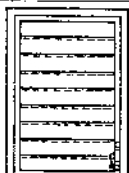
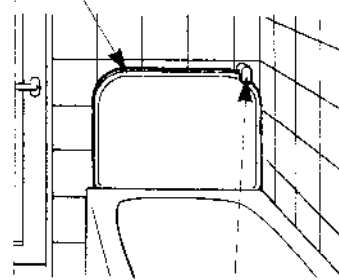
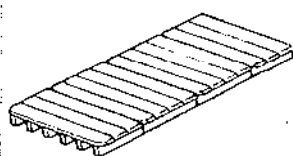
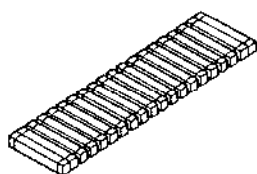
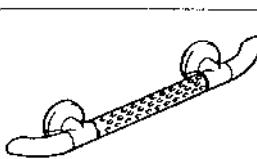
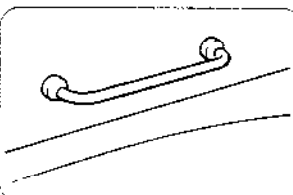
風呂フタ（オプション）

巻フタ

組フタ

組フタ（2枚組）

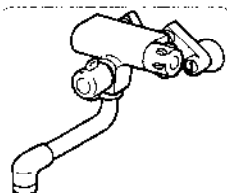
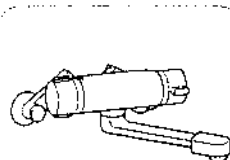
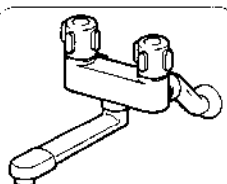
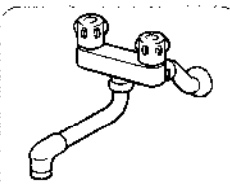
風呂フタ（組フタ）

風呂フタフック

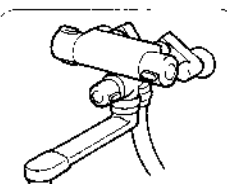
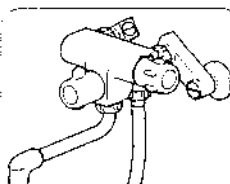
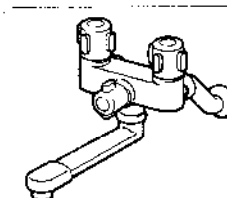
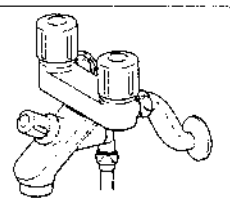
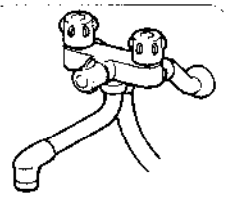
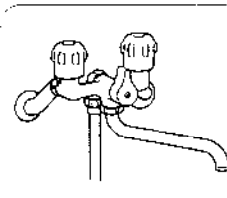
窓（オプション）

引き違い窓

上下昇降窓

可動ルーバー窓

スノコ

グレーチング

握りバー

アクセサリーバー

■水栓金具の種類

●浴槽側水栓

サーモスタット付水栓

ツーハンドル水栓

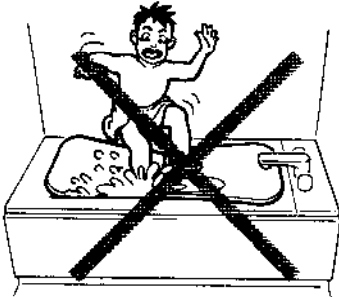
●シャワーバス水栓

サーモスタット付水栓

ツーハンドル水栓

安全上のご注意（必ずお守りください）

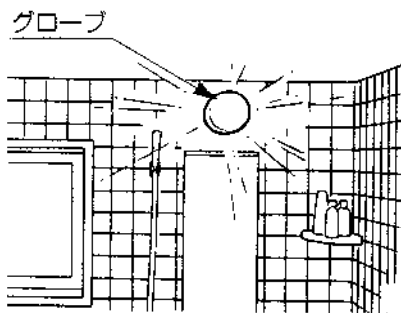
この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
水栓金具、換気扇などは商品に添付されている各取扱説明書および本体表示に従ってください。

⚠ 警告

風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。
※フタが外れたりして、**ケガやヤケドをするおそれ**があります。

水栓金具や換気扇などの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、および本体の注意表示に従ってお使いください。
※誤った使い方をすると、**思わぬ事故や故障のおそれ**があります。

換気扇等のお手入れや、電球を交換する場合は必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。
※**感電やケガをするおそれ**があります。

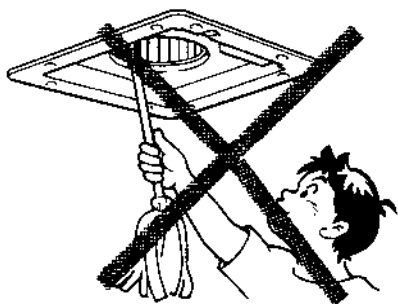
照明器具や換気扇等の電気製品は、グローブやルーバー等のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。
※**火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをするおそれ**があります。

照明器具にタオルなどを掛けないでください。
※過熱して**火災になるおそれ**があります。

排水栓は、手でしっかりと排水口に押し込んでください。
※自然循環式追いだき機器をご使用の場合、漏水により空だきとなり、**火災のおそれ**があります。

⚠ 注意

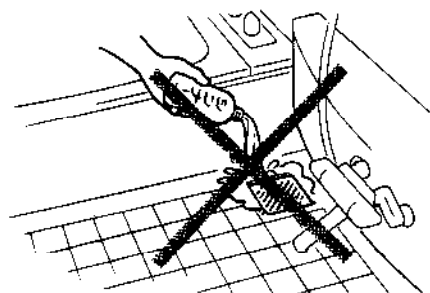
換気扇運転中はルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※**感電やケガ・故障のおそれ**があります。

点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物などを置かないでください。
※**火災・感電や漏水**、またフタが外れ、落下して**ケガをするおそれ**があります。

浴室内は石けん液などですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。
※転んで**ケガをするおそれ**があります。

浴槽に飛び降りたりして、無理な力をくわえないでください。
※浴槽が破損して**ケガをしたり、漏水する**おそれがあります。

ご自分で握りバーやタオル掛等を取り付けないでください。
※**タイルが割れたり、水漏れの原因**となります。

風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお使いください。
※フタが外れて、**ケガやヤケドをするおそれ**があります。

排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流し込まないでください。
※**水漏れの原因**となります。

ご使用方法

■浴槽側水栓について

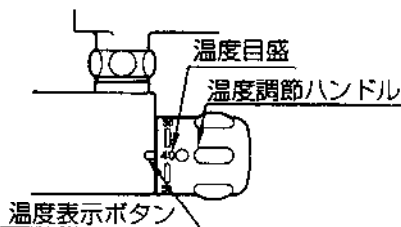
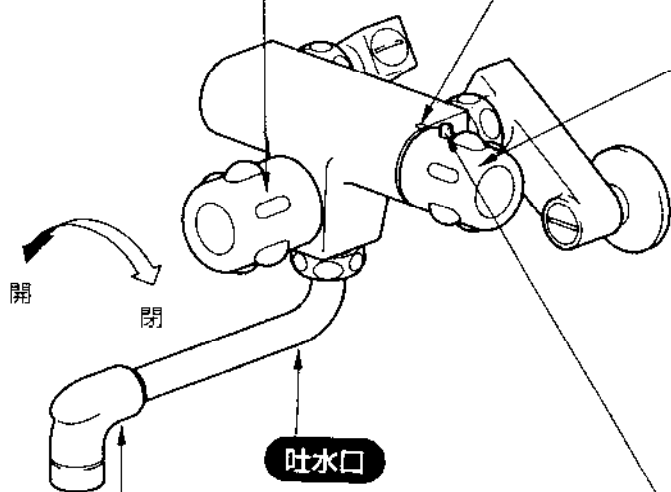
水栓の取扱いは、タイプによって異なりますので、ご使用いただく水栓に合わせてご覧ください。
詳しくは各水栓金具の取扱説明書をご覧ください。
水栓は当社商品以外の器具が取り付けられている場合があります。
当社商品以外の器具につきましては、器具に付属の取扱説明書をご一読ください。

サーモスタット付水栓（ルーティア）

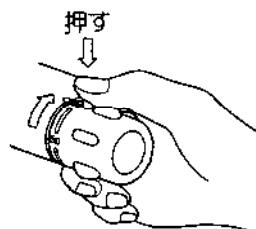
開閉ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。お湯を出すときは開閉ハンドルを左方に回します。

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

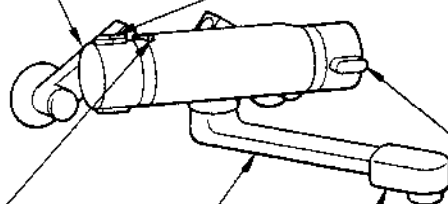
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

サーモスタット付水栓（プレッツォ）

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

吐水口

マーク（赤色）

断熱キャップ

開閉ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのレバーが横になっているときが止水位置です。お湯を出すときはハンドルを上方に回します。

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

ツーハンドル水栓

※図はルーティアシリーズです。他のシリーズ形状は若干異なりますが、使用方法は同様です。

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

■シャワーバス水栓について

水栓の取扱いは、タイプによって異なりますので、ご使用いただく水栓に合わせてご覧ください。
詳しくは各水栓金具の取扱説明書をご覧ください。
水栓は当社商品以外の器具が取り付けられている場合があります。
当社商品以外の器具につきましては、器具に付属の取扱説明書をご一読ください。

サーモスタット付水栓（プレッツォ）

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

吐水口

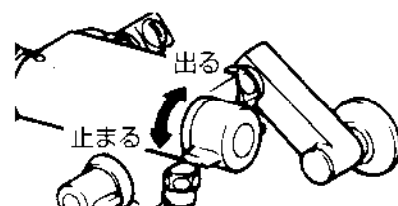
断熱キャップ

開閉ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのレバーが横になっているときが止水位置です。お湯を出すときはハンドルを上方に回します。

切替ハンドル

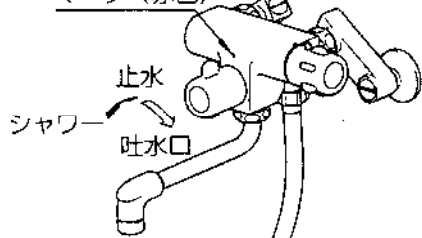
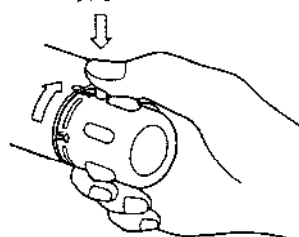
シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。

⚠ 注意

● 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

● ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

サーモスタット付水栓（ルーティア）

切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。
お湯を止めるときは、ハンドルのレバー部をマーク（赤色）に合わせます。

安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

ツーハンドル水栓

※図はルーティアシリーズです。他のシリーズ形状は若干異なりますが、使用方法は同様です。

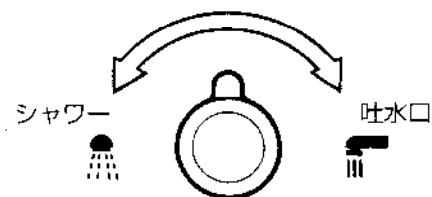
湯側ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル

水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。

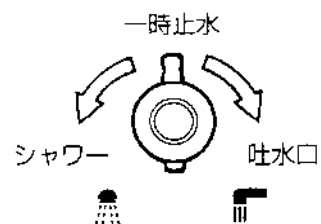
吐水口

切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。

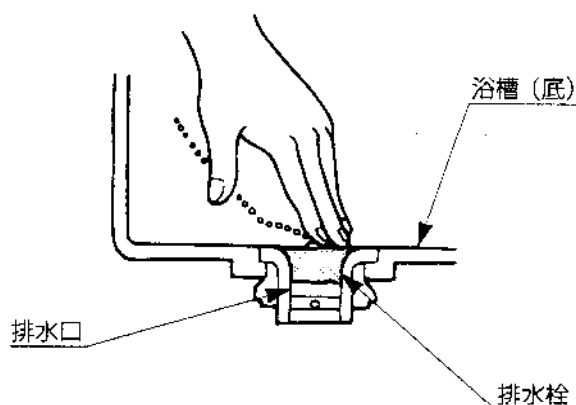
●一時止水機能付の場合

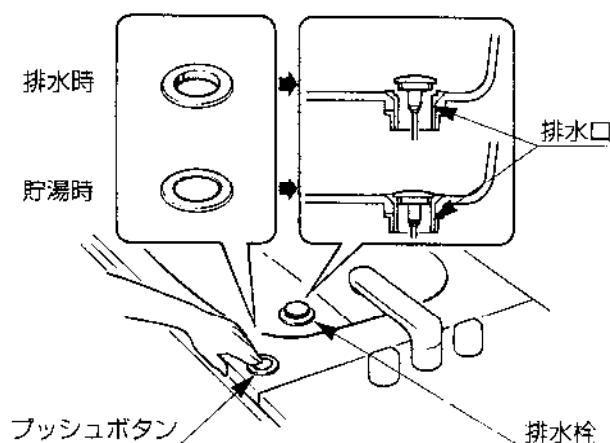
切替ハンドルを上方に向けると、ハンドルを閉めた場合と同様にお湯が止まります。

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

■排水栓について

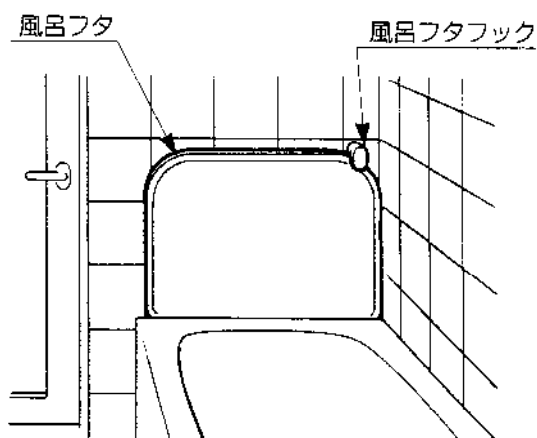
●ゴム栓の場合

排水栓は手でしっかりと排水口に押し込みます。

●プッシュワンウェイ排水栓の場合（オプション）

プッシュボタンを押して、排水栓の開閉を行います。
浴槽へお湯を貯めるときは、プッシュボタンが上がった状態にします。
排水するときは，プッシュボタンが下がった状態にします。

■風呂フタについて（オプション）

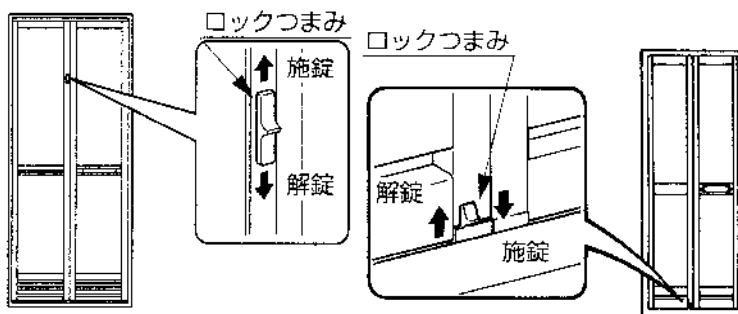
風呂フタには2種類組フタがあります。
2枚組の風呂フタには、専用の風呂フタフック（オプション）があります。浴槽背もたれ側の壁に風呂フタフックが付いている場合は、入浴するときに風呂フタをフックにかけてください。

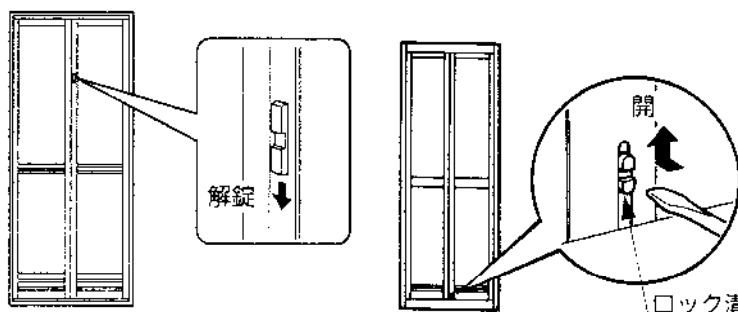
お願い

風呂フタフックにもたれたり、無理な力をかけないでください。
※**破損の原因**となります。

■ドアについて

折り戸の施錠・解錠

●浴室内側からの施錠・解錠

施錠はロックつまみを上方に上げます。（または下ろします。）
解錠はロックつまみを下方に下ろします。（または上げます。）

●浴室外側からの解錠（非常時）

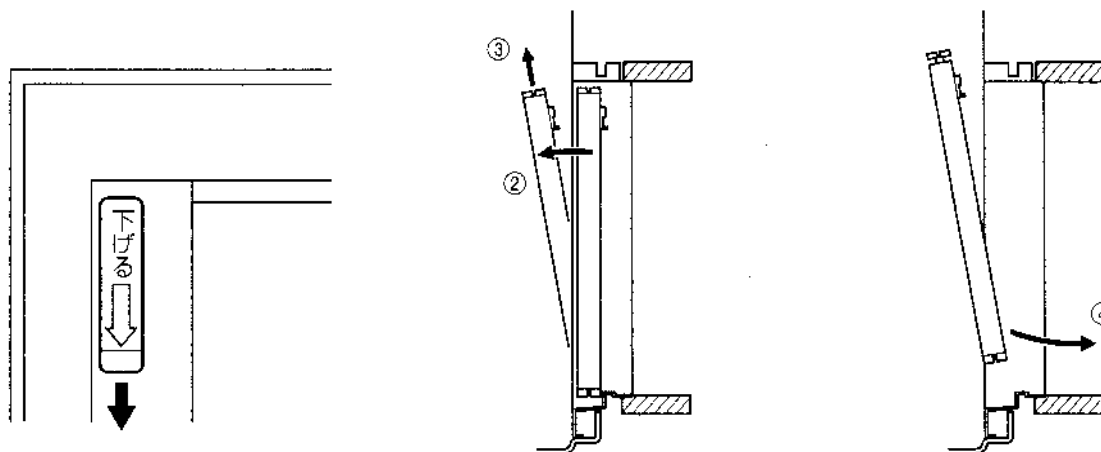
非常時に、浴室外から解錠するときは外側にあるロックつまみを下方に下ろします。（または上げます。）

折り戸の取り外し方

浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

①扉上部のツマミを下ろします。

②扉上部を浴室側に傾けます。

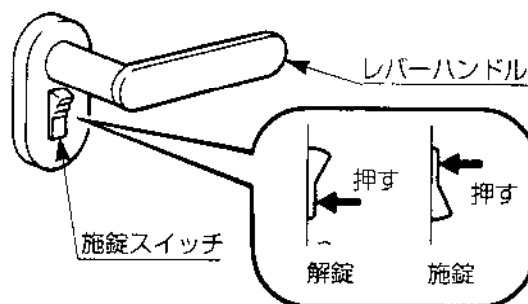
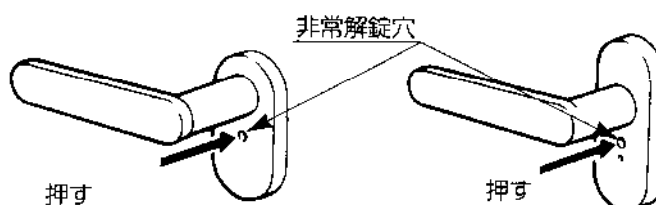
③扉を上方へ持ち上げます。

④扉を折り曲げたまま、浴室外側に取り出します。

※取付けは「取り外し方」と逆の手順で行います。
※取付後は、ツマミを元の位置（上側）に戻っていることを確認してください。

開き戸の施錠・解錠

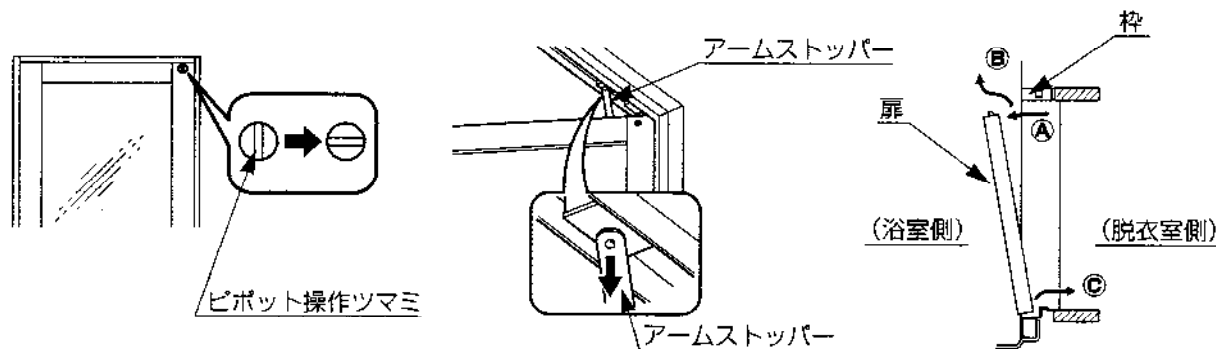
●浴室内側からの施錠・解錠

施錠は施錠スイッチの上側を押し、解錠は下側を押します。
※浴室から出る際にドアを閉めるときは、施錠スイッチを解錠状態にしてください。施錠の状態にしたままドアを閉めますと、入室できなくなります。
その場合は、下の「浴室外側からの解錠（非常時）」をご覧ください。

●浴室外側からの解錠（非常時）

非常時に浴室外から解錠するときは、非常解錠穴をヘアピン等で突きます。施錠スイッチが解錠となり、ドアを開けることができます。

※図は救助装置付開き戸です。他の開き戸は若干形状は異なりますが、使用方法は同様です。

開き戸の取り外し方（救助装置付の場合）

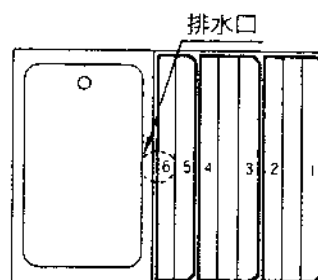
浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

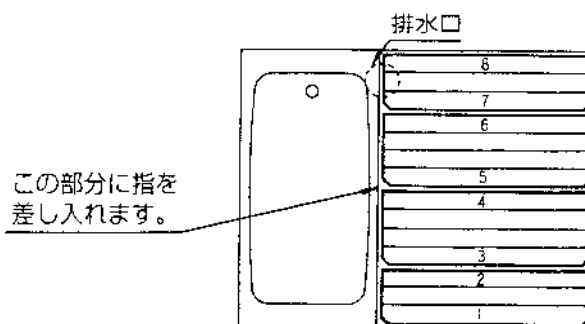
①扉上部のツマミを溝が横向きになるよう、マイナスドライバーで回します。
②レバーハンドルを操作し、ドアを浴室側に開きます。
③扉上部のアームストッパーを下へ引っぱり、枠から引き抜きます。
④扉上部を浴室側へ倒しながら（図中Ⓐ）上方へ持ち上げます。（図中Ⓑ）
⑤扉を少し斜めにしながら、扉下部から浴室外側へ扉を取り外します。

※取付けは「取り外し方」と逆の手順で行います。
※取付後は、ツマミの溝がたてになっていることを確認してください。

■スノコについて

スノコの取付け・取外し

●取外し

スノコは3または4つに分割されています。
目皿や排水トラップのお手入れをするときは、目皿付近のスノコを取り外して行います。
各スノコの角の取れた部分に指を差し入れ、取り外すことができます。

●取付け

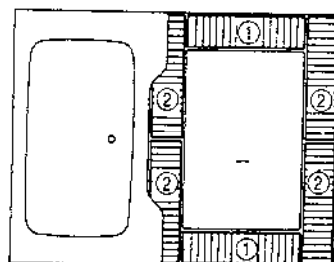
スノコの裏側に1・2・3…の表示があります。右図のように取り付けてください。
浴槽の一部が洗い場側に出っ張っている場合は、出っ張っている側にくるスノコを先に取り付けてください。

スノコの裏側は髪の毛や湯アカなどの汚れが付きやすいので、こまめに掃除することをお薦めします。

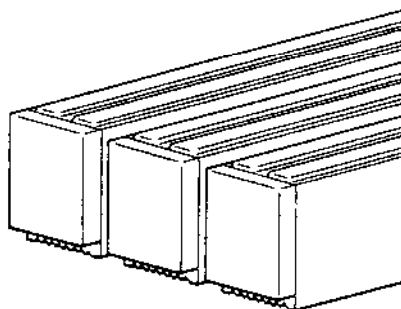
ご使用方法（スノコについて）

■グレーチングについて ……………………………………

グレーチングの取付け・取外し

●取外し

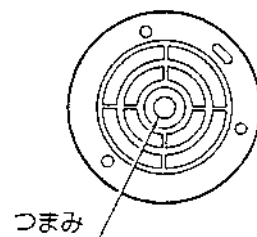
グレーチングは6つに分割されています。
右図の②①の順に取り外します。

●取付け

まず、両端に金具の付いたグレーチング（右図の①）を取り付けます。その後、残りのグレーチングを取り付けます。グレーチングの上下は右図のとおりです。

（ワンポイント）

グレーチングの裏側は髪の毛や湯アカなどの汚れが付きやすいので、こまめに掃除することをお薦めします。

■換気グリルについて（オプション）……………………………

換気グリルの開閉

換気グリルは開閉することができます。グリル中央のつまみを下に引けば開き、上に押せば閉じます。

ご使用上の注意

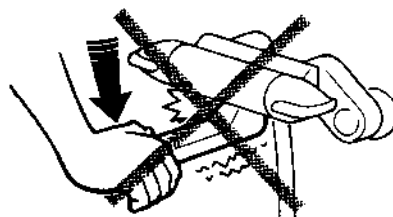
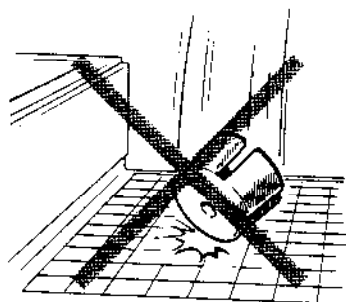
■故障をおこさないためにお守りください ……………………

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸などの薬品や漂白剤は使用しないでください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
　また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。

重いものや硬いものを落さないでください。
※**キズの原因**となります。

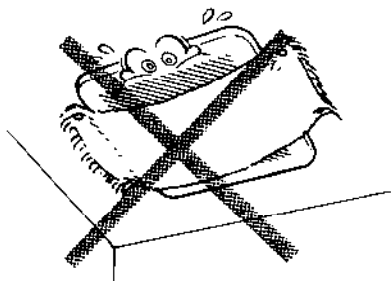
お湯は温度を調節して給湯してください。
※直接熱湯を入れますと**浴槽を傷める原因**となります。

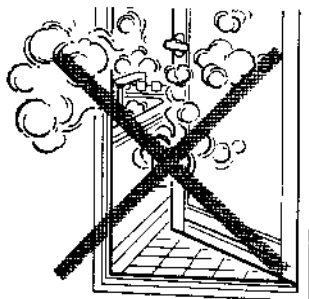
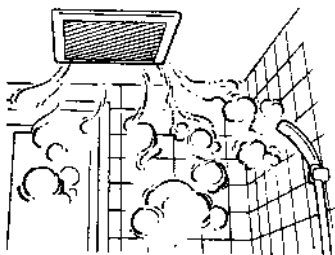
ドアに直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、他の部屋に悪影響を及ぼすことがあります。

水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※**水漏れの原因**となります。

タバコなどの火気を近づけないでください。
※**キズ・ヒビ割れの原因**となります。

ヘアピン・カミソリの刃等をカウンターに放置しないでください。
※**サビが付着して取れなくなる場合**があります。

浴槽には浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※継続して使用すると**浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

スノコの上に角のある重いものをのせたり、スノコの上で踏台を使用したりしないでください。
※**キズの原因**となります。

換気扇の吸込口をタオルなどでフタをしないでください。
※**故障の原因**となります。

窓枠の上に植木ばちなどの重いものを置かないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

貯湯や入浴中、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
※浴室外に蒸気が漏れ、他の部屋に悪影響を及ぼします。

入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用するなど、浴室にこもった蒸気を屋外へ排出してください。
※浴室にこもった蒸気は、**悪臭やカビの発生原因**となります。

風呂フタは、SG認定品若しくは浴槽メーカーの用意したものをご使用ください。
(SG認定品とは…通産省指導のもとに発足した製品安全センターがつくった安全基準に合格したものです)
※**上記以外の風呂フタを使用して事故が生じた場合、当社は責任を負いかねます。**

アクセサリーバーに色落ちするタオル等を掛けないでください。
※**色移り**することがあります。

床・壁・天井・窓枠等の継目部分には、水漏れを防ぐため目地材(または、コーキング材)がうたれています。はぎ取ったり、キズつけないでください。
※**漏水の原因**となります。

KILAMIC抗菌仕様商品についてのご注意

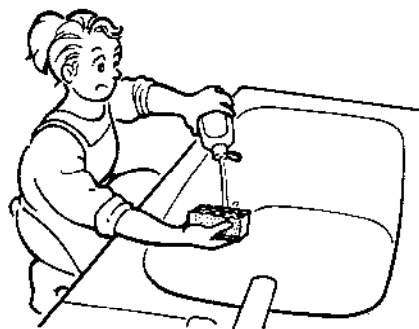
・KILAMIC抗菌仕様商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ、油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。
・KILAMIC抗菌仕様商品は菌の繁殖を抑制する効果は持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品を感染防止を目的として使用しないでください。

お手入れ方法

■日頃のお手入れ

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸などの薬品や漂白剤は使用しないでください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
　また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。

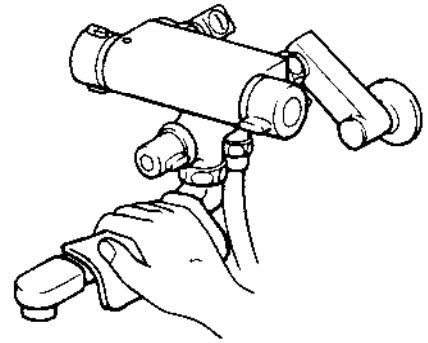
浴槽や風呂フタ・床のお手入れ

浴槽用中性洗剤をスポンジか柔らかい布に付けて洗い、その後水でよく洗い流してください。
また、浴槽の底にたまったゴミや鉄粉はよく洗い流してください。
市販クリームクレンザーで磨くと頑固な汚れは落ちますが、クレンザーの多用は浴槽の光沢を失わせます。
日頃からこまめに清掃してください。

入浴後、排水するときに掃除をすると汚れは簡単に落とすことができます。
時間がたつほど汚れは落ちにくくなります。

天井・壁パネル・ドアのお手入れ

中性洗剤でふき洗いしてください。
洗剤は湿らせた布で、きれいにふきとってください。

水栓金具・タオル掛のお手入れ

水栓金具、タオル掛は週に1回程度、乾いた柔らかい布でふいてください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがついたり、メッキがはがれたりします。
※アルカリ性洗剤や酸性物が付かないようにしてください。
メッキを傷めます。
※水栓金具については各取扱説明書を参照ください。

カウンター・収納ラック・点検口・照明カバー・窓枠のお手入れ

食器用中性洗剤をうすめてスポンジなど柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがつきます。

目地のお手入れ

タイルの目地材は、ゴミやアカがつきやすく、カビが発生することがあるので、少なくとも週1回は布またはスポンジに中性洗剤をつけて、目地部の汚れをふきとってください。

また、目地に著しくカビが発生しているときは、次亜塩素酸系の漂白剤で漂白します。次亜塩素酸系の漂白剤が入手できない場合は、市販のカビ取り剤や洗濯用、あるいはキッチン用漂白剤をお使いください。

ワンポイント

防カビ剤を塗布しますと、カビの発生が少なくお手入れが楽になります。

お願い

漂白剤やカビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

握りバー・アクセサリーバーのお手入れ

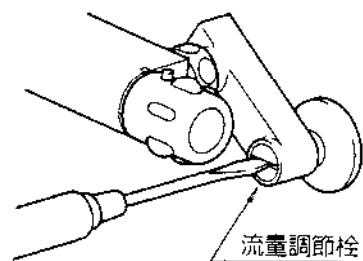
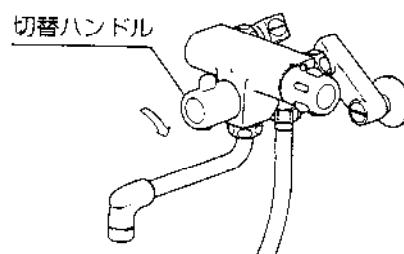
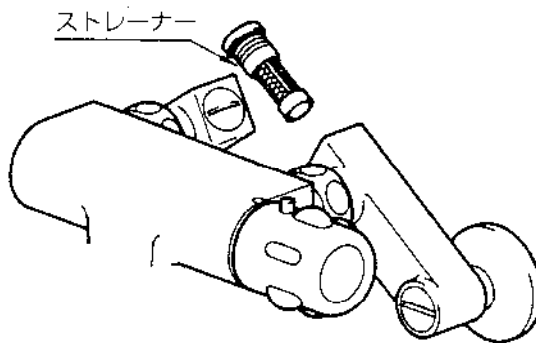
汚れは、乾いた柔かい布でふきとってください。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあと必ず水ぶきしてください。

■ストレーナーのお手入れ（壁付水栓の場合）………………

ストレーナーの掃除

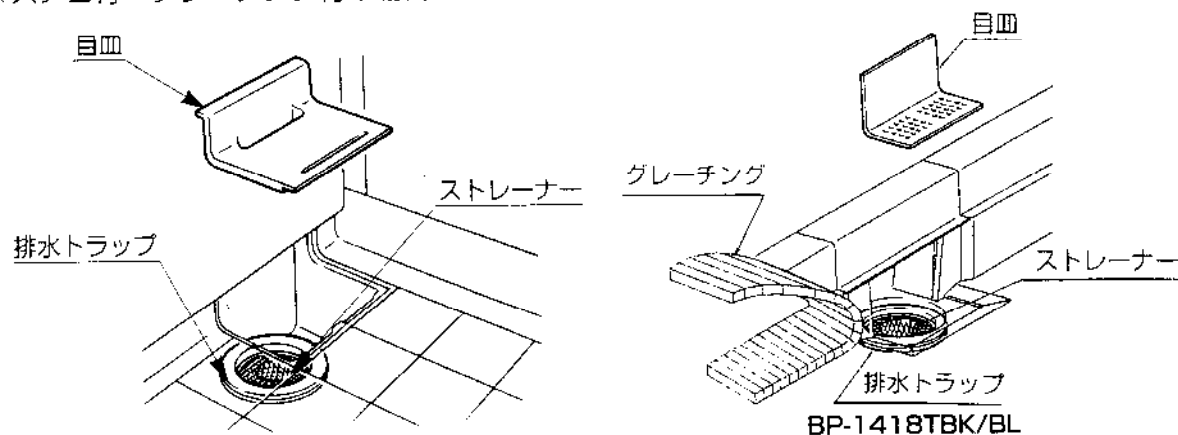
長期間使用していると、シャワーや吐水口からの水量が減っていくことがあります。
原因としてストレーナーの目詰まりが考えられます。
以下の要領でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）
※ツーハンドル水栓は掃除することはできません。お求めの販売店営業所またはお客さま相談室にご連絡ください。

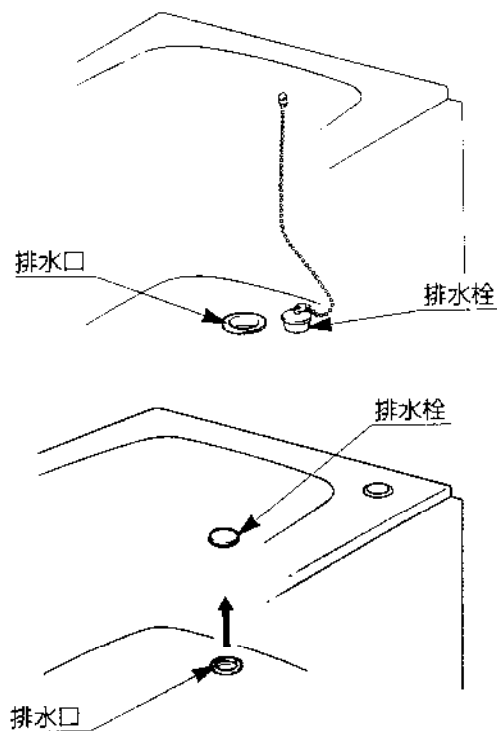
例）ルーティア水栓の場合

①流量調節栓を右（時計回り）にいっぱいに回して、閉めます。
※このとき、どのくらい回したかをメモしてください。
ストレーナー掃除後、元の水量に戻すためです。

②切替ハンドルを吐水口側、開閉ハンドルを開いて金具内の水を流します。

③大型マイナスドライバーを使用して、ストレーナーを取り外します。
※ストレーナーは湯側と水側両方に付いています。

④ストレーナーのゴミ等を水で洗い流します。
⑤取付けは逆の手順で行い、流量調節栓を元の位置に戻します。

■排水トラップ・浴槽排水口のお手入れ ....

床排水トラップのお手入れ

目皿とストレーナーを取り外し、ストレーナーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。
※ゴミ等は週に1度は取り除いてください。
　取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。
※スノコ付・グレーチング付の場合は、スノコやグレーチングを外してお手入れしてください。

浴槽排水口のお手入れ

浴槽排水口内のゴミを取り除いてください。
※排水口内のゴミ等は週に1度は取り除いてください。
　取り除いたゴミ等は直接流さないでください。
　排水管の詰まりの原因となります。

■照明用電球の交換

電源スイッチを入れても照明がつかない場合は電球が切れていることが考えられます。電源スイッチを切って、次の要領で交換してください。
交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。

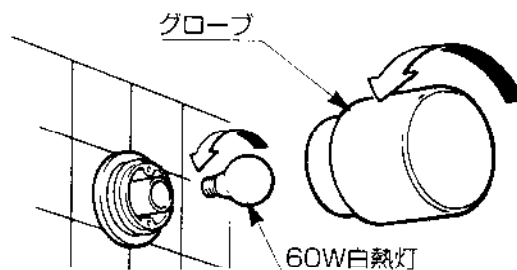
照明スイッチ（配電盤スイッチ）は必ず切った上で作業してください。
※**感電やショートするおそれ**があります。

ぬれた手で交換作業をしないでください。
※**感電やケガをするおそれ**があります。

電球はセットされているワット数のものと同じものをご使用ください。
※**故障の原因**となります。

電球が切れてもすぐに交換しないでください。
※電球が熱くなっており、**ヤケドをするおそれ**があります。

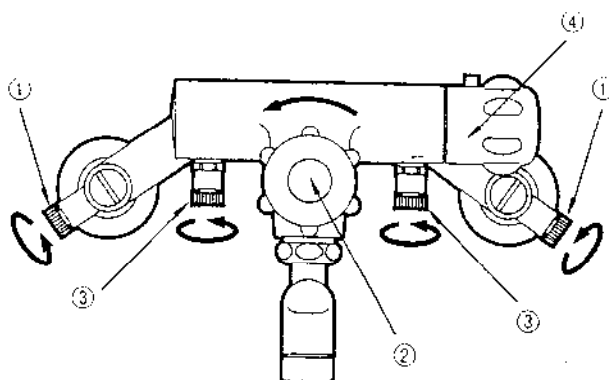
白熱灯の交換

①照明スイッチを切ります。
②円筒形または角形のグローブを左に回して取り外します。
③電球を取り外し、新しいもの（60W白熱灯）に交換します。
④グローブを右に回してしっかりと取り付けます。
⑤照明スイッチを入れて点灯することを確認します。

冬期凍結のおそれがある場合

冬期凍結のおそれがある場合は、必ず浴槽内のお湯を排水してください。
また、寒冷地仕様の場合は、以下の手順で水栓の水抜きを行ってください。

サーモスタット付水栓（浴槽側）

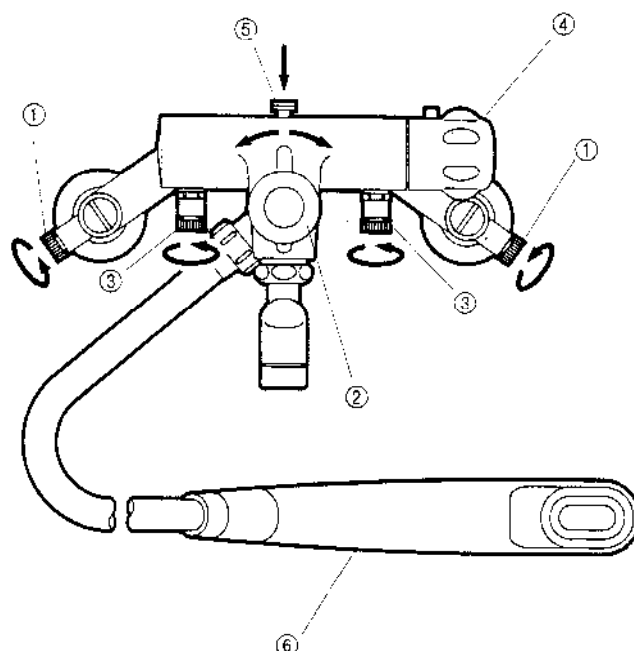
1. 取付脚の水抜き栓①（2個）を回して開けます。
2. 開閉ハンドル②を全開にします。
3. 本体の水抜き栓③（2個）を回して開けます。
4. 温度調節ハンドル④を数回「C」側から「H」側まで回します。

※再通水するときは、その前に必ず水抜き栓①③を閉めてください。

サーモスタット付水栓（シャワーバス）

●ルーティア

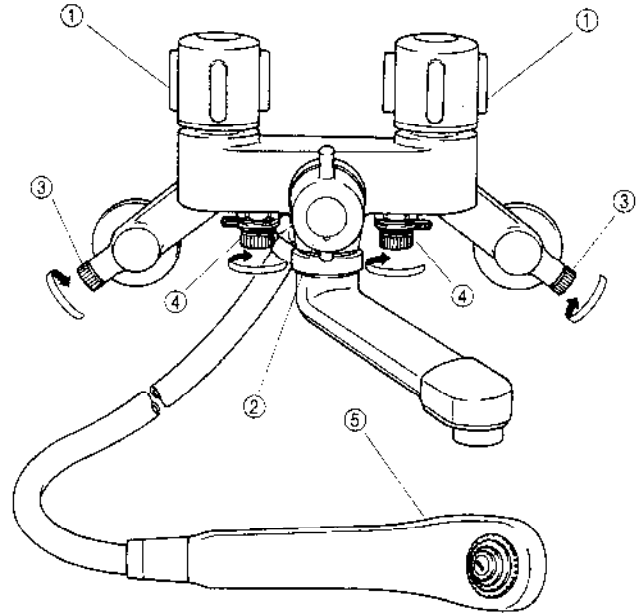
1. 取付脚の水抜き栓①（2個）を回して開けます。
2. シャワー・吐水口切替ハンドル②を吐水口側（右）に回します。
3. 本体の水抜き栓③（2個）を回して開けます。
4. 温度調節ハンドル④を数回「C」側から「H」側まで回します。
5. シャワー・吐水口切替ハンドル②をシャワー側（左）に回します。
6. シャワーエルボの逆止弁開放ボタン⑤を押します。
7. シャワーヘッド⑥を振って水をよく切り、床に置きます。

※再通水するときは、その前に必ず水抜き栓①③を閉めてください。

冬期凍結のおそれがある場合

ツーハンドル水栓（シャワーバス）

●プレッツォ

1. 湯側ハンドルと水側ハンドル①を開けます。
2. シャワー・吐水口切替ハンドル②を吐水口側（右）に回します。
3. 取付脚の水抜き栓③（2個）を回して開けます。
4. 本体の水抜き栓④（2個）を回して開けます。
5. シャワー・吐水口切替ハンドル②をシャワー側（左）に回します。
6. シャワーヘッド⑤を振って水をよく切り、床に置きます。

※再通水するときは、その前に必ず水抜き栓③④を閉めてください。

故障かな？と思ったら

■修理を依頼する前に

故障かなと思ったら、修理を依頼する前に下記項目をご確認ください。

現象		原因	処置
シャワー・浴槽水栓	水の勢いが弱い。	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーの掃除をします。(21ページ)
		給湯の能力が不足している。	浴室以外でできるだけ同時に湯を使わないようにします。
	湯温が上がらないまたは変動する。	給湯器の設定温度が低い。	給湯器の設定温度を上げます。
		給湯器の適水量が少なくて点火しにくい。	給湯器の設定温度を下げ、適水量を多くする。（給湯器の取扱説明書をご覧ください）
		給湯の能力が不足している。	浴室以外でできるだけ湯を使わないようにします。
照明	照明が点灯しない。	ソケットにしっかりとはまっていない。	白熱灯をソケットに確実にはめます。(23ページ)
		白熱灯の寿命が切れている。	白熱灯を交換します。(23ページ)
排水口	流したお湯がなかなか排水されない。	排水トラップまたはストレーナーが目詰まりしている。	排水トラップまたはストレーナーの掃除をします。(22ページ)

■点検・修理について

より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの販売店にご相談ください。

● "取扱説明書" どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき

また、次の場合は直ちに使用を中止して、お求めの販売店にご相談ください。

●浴室内で異常な音や振動を感じたとき
●浴室内でこげ臭いにおいがしたとき
●その他異常を感じたとき

次のような場合は有料となりますが、定期的に点検を受けていただくことをお奨めします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより2年経過したもの
●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

当社指定の取扱店以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作してケガをすることがあります。

■廃棄について

人造大理石浴槽、FRP浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスについて

保証と保証期間について

ユニットバスルームは、ご契約先への引渡し日より起算して、防水性能は5年間、防水性能以外については、2年間無償保証させていただきます。
ただし、下記事項によるものは保証いたしかねます。

①取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷。
〔浴槽浄化保温機（24時間バス）を使用された場合など〕
②建築躯体および関連設備工事に起因するもの。
③火災、地震、その他天災地変により生じたもの。
④据付後の改造、移動、その他変更により生じたもの。
⑤水栓の止水パッキン、照明電球等の消耗品。
⑥ユニットバスルーム専用部品以外の損傷。
⑦その他、製造・組立以外の損傷。

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

《連絡していただきたい内容》

- ●おなまえ・おところ・電話番号
- ●商品名・品番・取付年月日
- ●故障内容・故障の状況
- ●訪問ご希望日

※保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。
※保証期間が過ぎているときは、修理によって機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理致します。補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6ヶ年です。
補修用性能部品とは、商品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービス等についてご不明な点がありましたら、販売店または当社支社、お客さま相談室等（連絡先は裏表紙に記載）へお問い合わせください。

株式会社INAX

本　社 ☎0569-35-2700　札幌支社 ☎011-271-1701　東北支社 ☎022-301-1701
東京支社 ☎03-5541-7111　西東京支社 ☎0425-27-3341　横浜支社 ☎045-242-1710
千葉支社 ☎043-227-8171　埼玉支社 ☎048-668-1177　東関東支社 ☎028-637-3379
関越支社 ☎0273-27-1793　甲信支社 ☎0263-36-2166　名古屋支社 ☎052-201-1717
静岡支社 ☎054-251-1710　北陸支社 ☎0762-64-1710　大阪支社 ☎ 06-539-3500
京滋支社 ☎075-222-1794　広島支社 ☎082-223-1710　四国支社 ☎0878-21-1701
福岡支社 ☎092-282-3151　南九州支社 ☎096-322-1794

●ショールームとお客さま相談室のご案内

札幌 —— 011-271-1710　青森 —— 0177-74-2345　仙台 —— 022-265-1710　郡山 —— 0249-22-7503
水戸 —— 029-227-1718　高崎 —— 0273-25-1257　宇都宮 — 028-634-2133　大宮 —— 048-651-1791
銀座 —— 03-5250-6560　新宿L21 — 03-3340-1700　千葉 —— 043-222-1701　横浜 —— 045-242-9290
松本 —— 0263-36-7410　岐阜 —— 058-276-1711　静岡 —— 054-251-1701　名古屋 — 052-201-1715
津 —— 0592-26-1715　新潟 —— 025-228-1701　金沢 —— 0762-62-1701　京都 —— 075-231-1716
奈良 —— 0742-35-3894　大阪 —— 06-539-4016　神戸 —— 078-361-6680　岡山 —— 086-222-0155
徳島 —— 0886-26-1703　松山 —— 089-931-5730　高松 —— 0878-21-1782　広島 —— 082-227-1701
松江 —— 0852-31-6038　山口 —— 0839-73-2424　福岡 —— 092-471-1700　熊本 —— 096-322-1894
鹿児島 — 099-227-1755

東京お客さま相談室 —— 03-5381-1799　名古屋お客さま相談室 —— 052-201-1733
大阪お客さま相談室 —— 06-539-3504

取扱店

GPU-0055(97060)